

令和6年度 三鷹の森学園三鷹市立第五小学校 グランドデザイン

学園の教育目標

- ア 社会の変化に対応し、自ら学び、知識・技能等を主体的に更新する力
- イ 自ら問題を発見し、筋道立てて考えたり、試行錯誤したりしながら問題を解決する力
- ウ 多様な人々との対話や協働を通じて、新たな価値やよりよい社会を創造していく力
- エ 困難な場面に直面しても、ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り拓いていく力

学校教育目標

つよく

やさしく

かんがえふかく

心身ともに健康でいられる学校

- 「元気だよ！」
- 「がんばるぞ！」

安心して過ごせる学校

- 「明日も学校、楽しみだな。」
- 「先生や友達は味方だよ。」

人と人とのつながりを大切にする学校

- 「学校・学園大好き！」
- 「このまち大好き！」

学ぶ楽しさを得られる学校

- 「学んで楽しい！」
- 「できた！嬉しい！」

○健康な体づくりの意識化

- ・ 体力・運動能力向上
- ・ 家庭、地域と協働した基本的生活習慣の定着
- ・ 「めあて」をもって取り組ませること

○体を動かすことの楽しさ

- ・ 休み時間の外遊び、体育旬間
- ・ オリンピック・パラリンピックレガシーとしてのパラスポーツ

○「食」に対する興味・関心の向上

- ・ 給食指導、食育指導
- ・ 三鷹野菜に関連した取組

○教師の児童理解力向上

- ・ 一人ひとりに応じた対応
- ・ 組織的な対応
- ・ 保護者、地域、関係機関との連携

○安心できる学校生活

- ・ 「いじめ」問題の根絶
- ・ 長期欠席・不登校児童への対応
- ・ 教育相談の充実

○教育支援の充実

- ・ 個別指導計画に基づいた指導と体制づくり
- ・ 校内委員会の活性化

○社会と関わり人生を切り拓いていくために

- ・ たてわり班活動の充実
- ・ コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育の充実
- ・ 学園内、地域等、多様な交流の場の設定
- ・ 「ありがとう」「ごめんなさい」「たすけて」を言えるように

○「共育」「協育」の共有

- ・ 学校が「核」となる家庭・地域と協働する取組
- ・ 地域人財、学園サポーターと共に活動

○キャリア教育の推進

- ・ 自己有用感・自己効力感を高める。

○知識・技能の習得

- ・ 「三鷹小・中一貫カリキュラム（更新版）、「カリキュラム・マネジメント・ガイド」の活用

- ・ 家庭学習・地域未来塾との連携

- ・ 学習用タブレット端末の活用とデジタルシティズンシップ教育の充実

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・ 「わかる・できる・かかわり合う」授業づくり
- ・ 探究的な学びの研究

○学びに向かう力・人間性等の涵養

- ・ 意欲を高めるための工夫
- ・ 学ぶ必然性をもたせる授業づくり

そして、ウェルビーイングを目指して

やってみよう（自己実現と成長） ありがとう（つながりと感謝）
 なんとかなる（前向きと楽観） ありのままに（独立と自分らしさ）

教職員の在り方

〈学び続ける〉

- ・ 主体的に職務に取り組む。
- ・ 「自分ごと」として研修に臨む。
- ・ 児童、保護者、地域の方、他の教職員の声に耳を傾け、受け止め、考える。
- ・ 社会に目を向け自己啓発に努める。

〈信頼される〉

- ・ 報告、連絡、相談を確実にし、危機意識をもつ。
- ・ 相談や苦情に対し、迅速に対応する。
- ・ 家庭や地域への情報発信に努める。

〈安心できる〉

- ・ お互いに配慮し協力し合える温かい職場をつくる。
- ・ ライフワークバランスの意識を持ち、自らのウェルビーイングの実現を目指す。
- ・ 働き方改革を推進する。